

【台詞集：アーチャー】

■ [音声有り](#)

- [選択](#)
- [登場](#)
- [勝利](#)
- [攻撃](#)
 - [通常攻撃](#)
 - [必殺技](#)
 - [超必殺技](#)
 - [聖杯必殺技](#)
- [魔力開放](#)
- [受け身](#)
- [K.O.](#)
- [勝利台詞](#)
- [ストーリー](#)

音声有り

選択

- 倒してしまっても、構わんのだな？
- 期待に答えるでしょう

登場

- 直接対決とは.....意外と単純だな
- 剣をとるのは、必殺を誓った時のみだ
- 白兵戦なら勝機があると？
- では、君の敗北に賭けよう
- 正義の味方.....だと？（vs士郎）
- 相変わらず、懲りない男だ（vsランサー）
- その因縁共々、ここで断ち切る！（vsセイバー）
- もう少し、おしとやかにな・・・（vs凜）
- もう少しこう、慎みというものをだな...（vs凜）
- 真贋入り混じってこそその現世だと思うがね（vsギルガメッシュ・PS2版）

勝利

- 次で終わりにしよう
- ほう、まだいけるか
- 後が無いぞ
- 先に行くぞ、立ち上がれるなら追って来い（決着時）
- 意味の無い殺生は苦手だね（決着時）
- 力任せだな、肝を冷やしたぞ（決着時）
- 準備も覚悟も足りなかったな（決着時）
- 敵を見た目で侮らないことだ（決着時）
- フン、理想を抱いて溺死しろ・・・（vs士郎決着時）
- やれやれ.....無事終わったか（vs凜決着時）
- 自慢の槍...衰えたか？（vsランサー決着時）

攻撃

通常攻撃

- はっ！
- せやっ！

ふん！

-
- 貰った！
- 喰らえ！
- いやぁ！
- それ！
- 終わりだ！（投げ）
- 捉えた！（投げ）
- チェックメイトだ！（投げ）

必殺技

- 鶴翼二連（投擲時）：小手調べだ！/連ねる！/いくぞ！
- 鶴翼二連（引き戻し時）：後ろだよ！/癖が悪くてね/来い！
- 鶴翼守究・襲：そおら！/出直して来い/浅はかだな
- 投影：ブレイド・オフ！（弓）
- 投影：トレース・オン！（剣）
- リンクシュート：捉えた！/（キュウシャハッセツ！（弓射八節？）
- トラップシュート：チェックメイトだ/撃ち抜く！/いかがかな？
- 熾天覆う七つの円冠（ローアイアス）：この七天（しちてん）、突破できるかな？/ロー...アイアス！

超必殺技

- 鶴翼三連：鶴翼、欠落ヲ不ラズ（しんぎむけつにしてばんじゃく）
- 赤原獵犬（フルンディング）：赤原を往け、緋の獵犬！/フルンディング！
- 壊れた幻想（ブロークンファンタズム）：我が骨子は捻れ狂う.../カラドボルグ！
- 無限の劍製（アンリミテッドブレイドワークス）詠唱
 - 1 節：I am the bone of my sword.
 - 2 節：Steel is my body, and fire is my blood.
 - 3 節：I have created over a thousand blades
 - 4 節：Unknown to Death. Nor known to Life.
 - 5 節：Have withstood pain to create many weapons.
 - 6 節：Yet, those hands will never hold anything.

聖杯必殺技

- 無限の劍舞（アンリミテッドブレイドダンス）：かわせるか・・・！（ヒット時）行け！ 終わりだ。

魔力開放

- 通常：はああっ！！
- 無限の劍製発動時：So as I pray, unlimited blade works.

受け身

- やってくれる...
- ここからだ！

K.O.

- 深手を負ったか...（1 本目）
- 私の、敗北だ.....（決着時）

勝利台詞

- 剣で敵を防ぐ弓兵もいる。これに懲りたら、肩書きだけで敵を判断しないことだ
- まっとうな一騎打ちじゃあるまいし、剣には剣で、弓には弓で戦うとでも？
- 実に単純な攻め手だった。一本槍ではこれこの通り、たやすく落ちるものだよ
- 予想が外れたな。もう少し手こずるかと思ったのだが、
- 元来、そう取り得の無い男でね。一つを極めるより、多くを修める道を選んだのさ

- 奇策を尽くせば一度くらいは勝ちを掴める。彼の湖の騎士にはおよばないが、なかなかの武芸百般ぶりだろう、セイバー（vsセイバー）
- 錬鉄の魔術師を名乗るにはまだ早い。貴様の投影は、まだ子供だましの域を出ていない（vs士郎/対人戦）
- 因縁だなランサー。君としのぎを削り合うのは楽しいが、次は本気で来てほしいものだ（vsランサー）
- ……お転婆がすぎるぞ凜。その、なんだ、格闘戦をするのなら、専用の礼装を用意しないか？（vs凜）
- 慢心したな英雄王。物の善し悪しは性能ではなく、使い手の技量によって決定されるものだろう？（vsギルガメッシュ・PS2版）
- 清廉な王であろうと、一步を違えれば魔道に堕ちる。分かりきっていたことだが…いや、君がいざ暴竜になると、ゾッとしないな（VSセイバーオルタ）
- ……あと一步といふところまで追いつかれるとは……戦いには勝った。だが……負けたのは、オレの方だ（vs士郎/ストーリー）
- この体もここまでだが……後は連中がうまくやるだろう。敗者は潔く掃除屋に還るとしよう（VSギルガメッシュ/PS2ストーリー）

ストーリー

■ オープニング

アーチャー「……冬木の聖杯戦争に
サーヴァントとして召喚されるとはな」

「これは奇跡か、
それとも最後のダメ押しなのか。
あり得ないと判っていながらこの時を
待ち続けたが……さて」

「過去の改竄。
エミヤシロウという歪みをオレの手で
糺し、
凜を聖杯戦争の勝者にする」

「ふむ。
困難だが、サーヴァントには相応しい
注文(オーダー)だ」

「当面はマスターを裏切る事になるが、
なに、蔑まれるのには慣れているさ」

■ 四人目

士郎「 アーチャー」

アーチャー「思いの外早かったなエミヤシロウ。
その口ぶりでは私が何者なのか
思い至ったようだが、
セイバーの手は借りないのか？」

士「ああ、俺とおまえは同類だ。
だからこそ、
自分の手で決着をつけなくちゃいけない」
「衛宮士郎が、
正義の味方を張り続けるために」

ア「……………おまえでは
オレには勝てん」
「それを理解した上で、
なお戦いを挑む愚劣さ、
それこそが、
私が切り伏せるべき未熟さだ」

士「言ってる。
俺はおまえにだけは負けられない。
全力でおまえを迎え撃つ……！」

ア「は、言うておくが、戦いになぞならん。
実力を伴わない理想がどれほど
無力なものか、
一撃で証明してやる ！」

八人目

■
ギルガメッシュ「ほう、宗旨替えか？
裏切り者である貴様が、
いまさら我の前に現れるとは、
「それとも我に
介錯を求めにきたか、フェイカー？」

アーチャー「なに、
私も馬鹿になってみようと思ってね」
「おまえを生かしてはいるこの街が
火の海に沈むというのなら
その前に、悪党を退治しにきた」

ギ「は　　！
掃除屋が汚れる前にやってくるとは、
確かに阿呆の極みよな！」

ア「まったく、
私も焼きが回ったと見える
もっとも、
私の目的は凧を勝者にする事だね」
「どちらにせよおまえを片付ける事に
変わりはない、
なに、
今までの掃除に比べれば楽な仕事さ」

ギ「吼えたなフェイカー。
よかるう、
我が財には断頭の鎌も揃っている」
「一撃で首を落とすか、
ゆっくりとすり斬るか、
好みの方を選ぶがよい！」

■ エンディング

凧「ふう、ようやく半分ね。
自律型ゴーレムを千体なんて、
飽きもせず作り続けたものだけ、
っと……！」
「まったく、
その根性を、もっと有意義なコトに
向けてくれてたら
言うコトないんだけどっ！」

アーチャー「そう言うな、これも彼らなりの信念だ。
もともとは平和利用を
目的とした物だったらしい」
「それがまあ、最後の最後でよからぬ盗人に横取りされ、
この惨状を招いてしまったワケだがね」

凧「最後のツメを誤ってちゃ
意味ないでしょーが！
……って、
なんか余裕あるじゃないアンタ？」
「いつもはこう、もっと厳しくない？
敵にも味方にも被害者にも？」

ア「さて、
馬鹿げた後始末も相まって、いいかげんヤケになったのかもしれないな」
「　　来るぞ、第二波だ。
無駄話は止……
いやまあ、
これが片付いた後にしようか！」

凧「　　びっくり、
ホントにシャレが通じるように
なっちゃってる。」
「何が起きたか知らないけど……
うん、いいじゃない今の貴方！
しかめっ面してた頃より
何倍も男前じゃん！」

ア「それはどうも。
.....しかし、なんだな。
よくよく君のようなタイプに
縁があるな、私は」